

## セグメント別成長戦略

## 機能性部材料セグメント



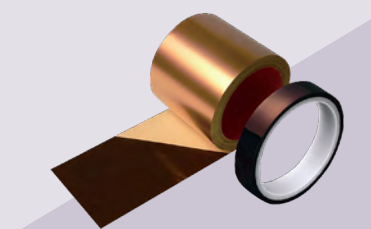
事業本部長  
山崎 克伸

建築・建材用テープをはじめとする粘着テープ、インク・フィルム・塗布型セパレーターなどの機能性材料、工業用ゴム製品などの製造販売を行っています。

ビジョン	コンバーティング製品の <b>エクセレントサプライヤー</b> をめざす
事業戦略	ニッチ・高付加価値分野で収益拡大

## 製品一覧

分類	主要製品
粘着テープ	建築、建材用テープ
	半導体製造工程用テープ
	産業工程用テープ
機能性材料	インク
	フィルム
	塗布型セパレーター
工業用ゴム製品	ゴムシート
	耐摩耗機材
	精密特殊品他



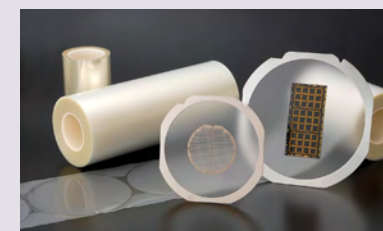
エレクトロニクステープ（導電性）



ブチル(両面)テープ



粘着テープ



ダイシングテープ



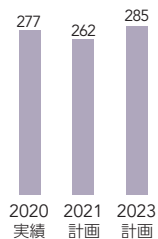
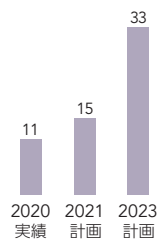
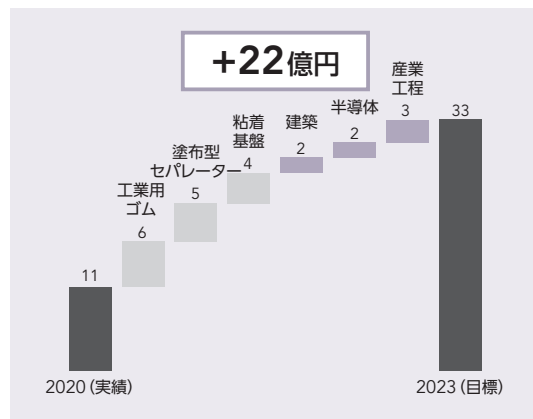
ゴムシート



塗布型セパレーター

## セグメント別成長戦略

## 機能性部材料セグメント

売上高  
(億円)営業利益  
(億円)営業利益偏差(2020→2023年度)  
(億円)

## 2020年度の状況

塗布型セパレーターは自動車市場の回復基調を受け第3四半期以降は復調の兆しが見えていますが、粘着テープなどとともに減収となったことにより、機能性部材料セグメント全体の売上高は277億円となりました。

営業利益は、塗布型セパレーターなどが減益となり、11億円となりました。

## MEX23をけん引する成長事業

成長事業	市場ポジション	強み	今後の展開
 <b>建築・建材用テープ</b>	「北米、東南アジア市場の開拓」 <ul style="list-style-type: none"> <li>北米は高気密住宅の拡大に対応、東南アジアは住宅・建物の防水工法の啓蒙活動と市場拡大を図る</li> <li>国内市場における強みを海外展開に活用。北米、東南アジアでの市場シェア獲得をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘着材料の混合分散、基材への精密塗布技術を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北米における気密部材の継続的新製品投入によるブランド認知向上</li> <li>東南アジアにおけるシート防水工法の普及促進</li> </ul>
 <b>半導体製造工程用テープ</b>	「拡大する半導体市場への独自製品導入による市場ポジション確保」 <ul style="list-style-type: none"> <li>モバイル機器の高容量化・普及拡大、データセンターの拡充などにより半導体市場が拡大</li> <li>DDF*1用ダイシングテープにおける市場ポジションのさらなる拡大とバックグラインドテープの拡充と拡販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘着材料の混合分散、基材への精密塗布技術、UV剥離型粘着技術を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DDF用ダイシングテープにおける競争力のある製品の継続的開発</li> <li>中国・台湾向け拡販</li> </ul>
 <b>産業工程用テープ</b>	「メガネレンズ成型用テープの拡販とマイクロレンズ製造工程向けテープの開発」 <ul style="list-style-type: none"> <li>メガネは主に途上国で、マイクロレンズはスマートフォンの普及拡大により需要増加</li> <li>メガネレンズ成型工程用テープのシェア拡大</li> <li>マイクロレンズの製造技術であるWLO*2に対応した工程用テープの開発と新規参入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘着材料の混合分散、基材への精密塗布技術に加え、WLO対応においては半導体製造工程用テープで培ったUV剥離型粘着技術を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>WLOレンズメーカーとの共同開発による早期事業化</li> <li>高付加価値製品の投入と生産性向上</li> </ul>

\*1 DDF:ダイシングダイボンディングー体型フィルム \*2 WLO: Wafer Level Optics